

| | |
|---|--|
| 平成 30 年度がん教育総合支援事業 がん教育推進校実践報告 | 【実践テーマ〈キーワード〉】 |
| 北海道上磯高等学校 | がん教育を通じて自他の生命を尊重し、生涯にわたり心身ともに健康な生活が営めるよう自らの疾病予防と健康管理のできる態度を育成する。 |
| 学級数：3 学級 生徒数：73 人 | 〈キーワード〉 がん教育全体計画 |

1 はじめに

本校では、これまで、科目「保健」及び「家庭基礎」において、がんに関する健康教育を実践してきた。また、「総合的な学習の時間」において「がん教育講座」と題し、外部講師による講演を行うなど外部関係機関との連携を図るなどして充実を図ってきた。

本校所在地の南渡島は罹患率も死亡率も男女とも高い傾向であることから、がん教育を通じて高校生が自他の生命を尊重し、生涯にわたり心身ともに健康な生活が営めるよう、自ら疾病の予防と健康管理のできる態度を養うことが必要であると考え、事業を推進することとした。

2 実践

(1) 学校全体で実施するがん教育

がん教育の校内検討会を教育課程委員会と同時開催し、がん教育の全体計画について検討した。

また、道教委の研修会を踏まえて、生活習慣病の予防やがん検診の重要性についての学習の進め方について校内研修を実施し、全教員の共通理解を図った。(資料1)

(2) 科目「保健」における調べ学習

がんに関する新聞の記事を収集し、要約するとともに感想をまとめることにより、健康やQOLについて考えを深めた。



(3) 総合的な学習の時間の取組

① 外部講師による講話

市立函館病院がん相談支援センターの新山氏を講師として、「がんについて正しく知ろう」をテーマに講話を実施した。生徒は、「がんとカミングアウトされた時にどのようなリアクションをするか」を考える機会となった。

引き続き、函館がん患者家族会「元気会」代表の斉藤氏を講師として、「がん患者への理解と共生」をテーマに、自身の心の軌跡や検診の重要性、共生社会を築くための配慮事項等についての講話を実施した。



[新山ちづる氏による講話]



[斉藤佐知子氏による講話]

② 知識を定着させるまとめ学習

講話に続いて、個人で学習した事項をワークシートにまとめ、キーワードを抽出する作業を行い、グループで特に大切であると考えた事項について話し合い、全体発表を行った。

後日、科目「保健」の授業で、学習内容を振り返るとともに、地域の検診を受ける場

所や医療機関を紹介し、インフォームドコンセントやアドバンスケアプランについて指導した。生徒は、「どんな生き方をしたいか」など、生涯にわたる健康の視点からがんに関する取組を通して考えたことをまとめる活動を行った。



[まとめ学習]



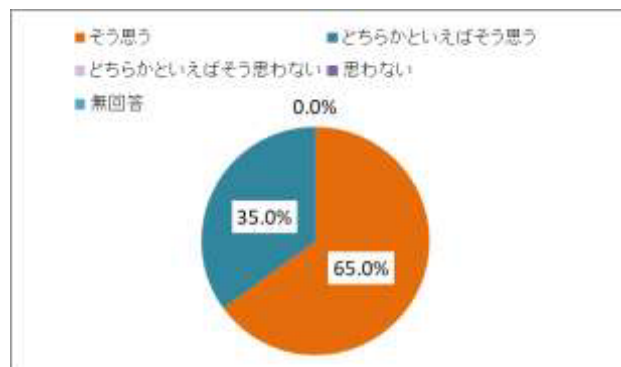
[発表]

(4) がんに関する読書

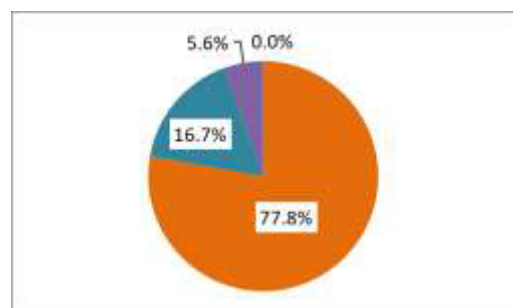
講話の翌週の朝のSHRで、毎朝 10 分程度、がんに係る書籍を読む時間を設けた。

○ がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。

(実施前)



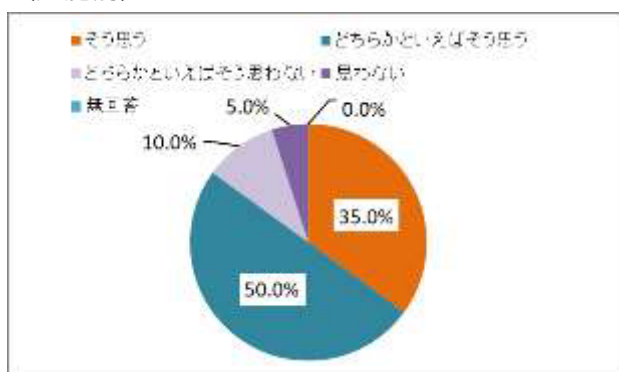
(実施後)



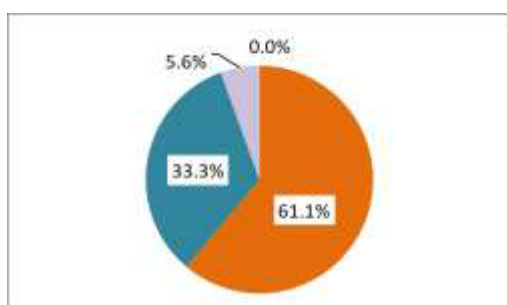
3 生徒アンケートの結果

○ 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。

(実施前)



(実施後)



4 実践の成果と課題

○ 成果 ○

外部講師による講話等により、生徒は、がんを肯定的に受け止めるとともに、がん患者が過ごしやすい社会づくりに向けた共生社会への理解の深化が図られた。

また、家族を含めた他者の健康について考える機会を多く設定したことで、自他の生命を尊重し、生涯にわたり心身ともに健康な生活が営めるよう、自らの疾病予防に向けた健康管理を実践する態度の育成に成果があった。

● 課題 ●

今後は、がん患者と共生する社会への実現に向けた具体的な方策を考える活動を取り入れることで、自他の健康を支える環境づくりを意識した学習活動へとつなげていきたい。

また、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、教科横断的な視点から「がん教育の全体計画」を検証・改善していく必要がある。

| | | |
|--|--|---|
| <p>関連法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・教育諸法規 ・学習指導要領 | <p>学校教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間愛を基本に、豊かな情操と高い知性を育む 2 自己と他者を理解し、対等で豊かな人間関係を築く 3 自らの意思で判断し、責任を持って行動する良識を育む | <p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・純朴で素直である。 ・学ぶ意欲と将来に対する夢や希望を持っている。 ・躓きやすく、悩むことがある。 |
| <p>北海道教育委員会教育理念</p> <p>《自律》自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む</p> <p>《共生》ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む</p> <p>目指すべき「6つの目標」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①社会で生きる力の育成 ②豊かな人間性の育成 ③健やかな体の育成（体力・運動能力の向上、食育の推進、健康教育の充実） ④学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進 ⑤学びをつなぐ学校づくりの実現 ⑥学びを活かす地域社会の実現 | <p>本校のがん教育目標</p> <p>自他の生命を尊重し、生涯にわたり心身ともに健康な生活を営めるよう、自らの疾病予防と健康管理のできる態度を養う</p> | <p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性を伸ばし充実した学校生活を送る ・学力の向上に努め、希望の進路を実現する ・共に人格を尊重し、社会貢献できる人材を育む |
| | <p>【がん教育の考え方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康教育の一環として、がんを学ぶことを通じて、自他の健康と命の大切さを考える 2 がんが身近な病気であることを理解する 3 早期発見、早期治療によって死亡する可能性が大きく低下することを知る 4 がんの治療法及びがん診療を行っている医療機関について知る 5 がんと向き合う人と共感的な心を育てる | |

| 各学年の重点目標 | | |
|---|--|---|
| 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 健康と病気について理解を図り、自己の健康を維持するための生活習慣と病気の予防について考えさせる。 2 がんについて正しい知識を習得させ、生活習慣とがん予防の関連を学ばせる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 健康の保持増進や疾病の予防のための個人と社会の取組について学び、グループ学習などを通じて理解を深める。 2 がん治療法や緩和ケアについて学び、がんと共生することへの理解を深める。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 自己と他者が互いに健康促進と維持に努められるような環境作りについて考察し、実現していくための手立てを考えさせる。 2 がん検診や地域の保健活動について学び、生涯を通じて適切に活用することを理解させる。 |

| 指導分野 | | |
|---|--|-------------------------|
| 教科 | 特別活動 | 領域外活動 |
| <p>保健体育</p> <p>1、2年生の保健の授業を通して、近年においては不適切な生活習慣から、がんの異常な細胞が増殖する疾病であることを理解させる。また、体育授業でも生活習慣病の予防と回復ががん予防につながることを理解させ、日常生活に計画的にスポーツを取り入れることが有効であることへの理解を深めさせる。</p> | <p>ホームルーム</p> <p>生徒会活動</p> <p>学校行事</p> | <p>集団指導</p> <p>個別指導</p> |
| <p>家庭</p> <p>日常生活における食事の現状や日本人の食生活の変遷について学び、食と生活習慣病やがん等の病気との関係について考察する。食の重要性の理解を促し、今後の食生活の在り方と改善について考える。</p> | | |
| <p>理科</p> <p>生物科目において細胞や遺伝子、免疫などの分野でがんの要因や種類、あるいは予防や治療法について触れ、がんに対する正しい知識の習得と、生活習慣の改善について考える機会とする。がん治療の現状と最先端の治療法についても視聴覚教材などを用いて紹介し、理解を深める。</p> | | |
| <p>社会</p> <p>「現代社会」の授業において「生命倫理」を扱う際に、遺伝子治療、尊厳死と安楽死、脳死と臓器移植、SOLとQOL、がん治療と社会復帰、などのテーマと関連づけながら、がんを通して生死の意義について考える。</p> | | |
| <p>国語</p> <p>がんに関する様々な文章を読むことにより、生活習慣や健康的な生活についての理解と考えを深める。</p> | | |
| <p>英語</p> <p>人体や医療に関する英語による表現を学習する。また病気、がんについての英文を読み、生命や健康の大切さについて理解を深める。</p> | | |
| <p>数学</p> <p>統計分野において、地域によるがん患者の分布や、喫煙や飲酒とがんの相関関係を調べ、図表化し、分析する。分析したデータを考察することにより、がんについての正しい知識を身につけ、理解を深める。</p> | | |
| <p>芸術</p> <p>音楽療法等を考察し、生徒と共に検証する中で、心の療法やリラクセスを生活習慣に取り入れる大切さについて理解を深める。</p> | | |
| <p>商業情報</p> <p>○情報教科でたとえば、がんの予防策をPowerPointでまとめる。優秀な生徒は発表会を行う（1・2年生）。</p> <p>○情報科でたとえば、がんのデータをExcelで集計し、表・グラフにし、分析する（3年生）。</p> | | |
| | 講演会 | 家庭・地域活動 |
| | 総合的な学習の時間 | 地域 |
| | | 地域社会 |